

議 事 概 要

【 名 称 】	第 5 回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会	
【 日 時 】	令和 7 年 7 月 1 8 日（金）午前 1 0 時～午前 1 1 時	
【 場 所 】	前橋プラザ元気 2 1 5 0 5 学習室	
【出席者】		
会 長	細 谷 精 一	前橋市副市長
副 会 長	中 川 哲	群馬県県土整備部技監
	川 合 寿 憲	前橋市都市計画部長（前橋市アーバンデザイン協議会会長）
委 員	臼 井 敬太郎	前橋工科大学准教授
	松 澤 正 幸	前橋市自治会連合会中央地区代表理事/表町一丁目自治会長
	塚 本 茂 二	大手町一丁目自治会長
	山 賀 博	本町一丁目自治会長
	吉 荒 鎌 右	本町二丁目自治会長
	楨 田 新 一	表町二丁目自治会長
	石 川 靖	前橋商工会議所副会頭
	平 方 宏	前橋商工会議所 常議員 まちづくり専門委員会委員長
	植 木 修	前橋中心商店街協同組合理事長
	阿佐美 忍	前橋市未来創造部長
アドバイザー	谷 川じゅんじ	J T Q株式会社 代表取締役
	橋 本 薫	前橋まちなかエージェンシー代表理事
オブザーバー	金 井 亘	群馬県県土整備部都市整備課長
	関 口 義 範	群馬県知事戦力部交通イノベーション推進課長(代理)
	鈴 木 修	群馬県県土整備部前橋土木事務所長
	纈 纈 正 樹	前橋市都市計画部市街地整備課長(代理)
	村 井 誠 志	前橋商工会議所常務理事 兼 事務局長
事 務 局	群馬県都市整備部都市計画課 前橋市都市計画部都市計画課	

1. 開会挨拶

2. 資料説明

- ・基本設計地元ワークショップスケジュール(案)【資料 1】

- ・ 第一回地元ワークショップ日程【資料2】
 - ・ 前橋クリエイティブシティ
- 県庁～前橋駅都市空間デザイン国際コンペシンポジウム【資料3】
- ・ 県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想 社会実験について【資料4】

3. 意見交換

(1)【アドバイザーからの意見】

- ・ 従来は、専門家が作成した案に対して地域住民が意見を述べる方法が一般的な計画策定の進め方だったと思われるが、今回実施される地元ワークショップ（資料1、2）は、計画づくりの段階から市民が参加し、皆で対話を重ねながら、自分たちの町に新しい機能や魅力を加えていくという点が、これまでの都市計画のプロセスとは異なると感じている。
- ・ 計画づくりの当初から市民が参加する方法は手間を要するものの、対話を通じて参加者が納得感の得られるまちづくりにつながることを期待している。

(2)【委員からの意見】

- ・ 地元住民としては本構想が素晴らしいものになればよいと感じる。
- ・ 地元役員会で本構想について説明した際に、車の移動制限が生じることに対する懸念や、現在の課題解決と未来の構想のことが混在してわかりづらいとの意見が挙がった。
- ・ 本協議会は未来のまちづくりを考える場とともに、その方針を地域の方が納得できる形に整理していくことが重要だと考える。

(3)【副会長からの意見】

- ・ 誰もが気軽に参加でき、自分たちのまちについて自然に考えられるような場にしたいため、ぜひ多くの方にワークショップやシンポジウムに参加してもらいたい。

(4)【委員からの意見】

- ・ 年代問わず誰もが気軽に意見し、まちづくりに参画することができる仕組みとして、前回の協議会（第四回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会）で紹介のあった、「前橋 ENGAWA プラットフォーム」に期待している。
- ・ 本構想は15年先を見据えた長期的なものであるため、途中で軌道修正が必要な可能性はあるが、まちの変化に柔軟に対応しながら、進めてほしい。
- ・ 本構想に関する取組みは長年にわたり続いていくものであるため、ワークショップなどに将来を担う子供達が参加できるような仕組みを取り入れていただきたい。

(5)【アドバイザーからの意見】

- ・ 「お試し」という印象を与えるような実験を繰り返し行うことで、整備後の道路空間のイメージを地域の方と共有しやすくなると思う。
- ・ 社会実験等は一度きりではなく、定期的開催することが望ましいと思う。